

1 本校の沿革

昭22.	4.	1	学制改革により菅谷村立菅谷中学校設置
〃22.	4.	22	開校式及び入学式
〃25.	7.	21	2階建築校舎落成
〃30.	8.	22	独立校舎完成
〃31.	4.	20	運動場完成
〃32.	2.	11	校旗・校歌制定
〃32.	6.	13	県委嘱保健体育研究発表
〃33.	2.	15	増築校舎落成
〃35.	1.	10	給食開始
〃40.	4.	15	体育館落成
〃40.	11.	6	技術科教室落成
〃42.	4.	15	嵐山町立菅谷中学校と改称
〃43.	7.	30	プール完成
〃49.	2.	21	県指定生徒指導研究発表
〃50.	5.	30	校舎改築
〃50.	11.	26	県指定学校給食指導研究発表
〃54.	11.	13	県委嘱統計教育研究発表
〃59.	4.	1	玉ノ岡中学校新設にともない分離
〃61.	2.	28	管理棟竣工
平 元.	8.	31	体育館大規模改修
〃 2.	5.	14	開校記念日5月30日に変更（平成3年度より）
〃 3.	2.	15	運動場西側拡張、外便所改修移設
〃 3.	11.	8	県委嘱同和教育研究発表
〃 8.	11.	30	グラウンド修復工事
〃12.	10.	1	教室棟大規模改修
〃21.	8.	29	学校ファーム設置
〃21.	11.	27	県指定体育授業（柔道）研究発表
〃22.	6.	12	菅谷小中学校応援団発足
〃24.	3.	7	新体育館落成
〃24.	4.	1	県指定小中一貫教育推進モデル事業委嘱
〃26.	4.	1	通級指導教室開設
〃28.	5.	1	菅谷小中合同PTA発足

2 学校管理関係者等

設置者	町 長	佐久間孝光							
管理者	教育 長	下村 治	教育委員	嶋本 佳則	・ 船戸美津子	・ 中澤 恵利	・ 村田 弘子		
	校 長	西川 光治	教 頭	矢島 孝行					
学校医	校 医								
P T A	学校歯科医 会長	薬 劑 師 副 会 長							

3 教室配置



4 学級編成と生徒数 (令和4年5月1日現在)

	1 学 年			2 学 年			3 学 年			特別支援学級	合 計
	A	B	計	A	B	計	A	B	計	D・E・F	
男	18	18	36	22	21	43	17	17	34	6	113
女	17	17	34	15	16	31	20	19	39	9	104
計	35	35	70	37	37	74	37	36	73	15	217

令和5年度
学 校 要 覧



「挨拶と笑顔あふれる元気な学校」



校 歌

安岡正篤 監修

安藤専一 作詞

牧野 統 作曲

一 史跡匂う菅谷野の

松風清きこの岡に

五三の桐の旗じるし

高くかかげて若人が

真理の道を進みゆく

われらが学舎に栄えあれ

二

たどる自由の道遠く

平和の空は遙けきも

自主公正の誓い履み

いつかは架けん若人が

描く理想の虹の橋

われらが郷に光りあれ

三

澄みわたりたる大空に

のぼる朝日の姿こそ

われらが学舎の象徴なれ

明るく清く慎ましく

励む師弟の姿こそ

われらが祖国の誇りなれ

埼玉県比企郡嵐山町立菅谷中学校

郵便番号 355-0221

埼玉県比企郡嵐山町大字菅谷649番地

電 話 0493 (62) 2055

F A X 0493 (62) 4555

Eメールアドレス suga.js@ranzan.sas.ed.jp

交 通 東武東上線・武蔵嵐山駅 徒歩10分

6 教育活動

(1) 学校行事等年間計画

月	行 事 等
4	始業式・入学式・新入生歓迎会・身体測定・健康診断・菅谷小中学校PTA総会
5	健康診断・生徒総会・中間テスト・体育祭
6	健康診断・学校総合体育大会予選会・小中合同資源回収・期末テスト
7	林間学校（1年）・小中合同避難訓練・終業式・三者面談
9	始業式・避難訓練・菅中祭
10	新人体育大会予選会・中間テスト・小中合同資源回収・生徒会本部役員選挙・比企地区駅伝大会・合唱祭
11	三者面談・期末テスト
12	スリーデイズチャレンジ（1年）・修学旅行（2年）・門松づくり・終業式
1	始業式・避難訓練・新入生保護者説明会・私立高校入試
2	小中合同資源回収・期末テスト・県公立高校入試
3	3年生を送る会・卒業式・修了式

(2) 日課表

	月～金（50分授業）
登校	8：25
朝読書	8：25～8：35
朝の会	8：35～8：45
第1校時	8：50～9：40
第2校時	9：50～10：40
第3校時	10：50～11：40
第4校時	11：50～12：40
給食	12：40～13：15
昼休み	13：15～13：35
第5校時	13：35～14：25
（清掃）	14：30～14：45
（帰りの会）	14：50～15：00
第6校時	14：35～15：25
清 掃	15：30～15：45
帰りの会	15：50～16：00
下校	別に定める

(3) 授 業

	月	火	水	木	金
1	○	○	○	○	○
2	○	○	○	○	○
3	○	○	○	○	○
4	○	○	○	○	○
5	○	○	○	○	○
6		○	○	○	○

(4) 定例行事等

- ・企画委員会（月1～2回、月第5校時）
- ・生徒指導部会（毎週、木第4校時）
- ・教育相談部会（隔週、火第3校時）
- ・安全点検（毎月10日）
- ・入学式、体育祭、合唱祭、専門委員会、卒業式、会議の日→部活動なし
- ・定期テスト5日前から部活動なし
- ・生徒会専門委員会（月1回）
- ・木曜日→専門委員会、学年会、学年学級の日

7 職員一覧表

No.	職 名	氏 名	分 掌	教科	備 考
1	校 長	西川 光治	学校経営	保体	
2	教 頭	矢島 孝行	学校運営	社会	
3	主幹教諭		教務主任、音楽主任、研究主任、吹奏楽部	音楽	
4	教 諭		1学年主任、国語主任、野球部	国語	
5	教 諭		1A担任、家庭科主任、教育相談主任、芸術部、吹奏楽部、	家庭	
6	教 諭		1B担任、情報教育主任、部活動担当、女子バスケ部	保体	
7	教 諭		2学年主任、理科主任、バレー部	理科	
8	教 諭		2A担任、保健体育科主任、部活動担当、剣道部	保体	
9	教 諭		2B担任、書写主任、生徒指導主任、学校図書館教育、野球部	国語	
10	教 諭		3学年主任、国語科主任、管轄担当、男子ソフトテニス部	数学	
11	教 諭		3A担任、特別活動主任、美化・清掃主任、女子ソフトテニス部	理科	
12	教 諭		3B担任、数学主任、道徳主任、総合的な学習の時間主任、安全教育主任、男子バスケ部	数学	
13	教 諭		3学年副担任、進路指導主事、給食主任、バレー部	英語	
14	教 諭		特別支援教育主任・コーディネータ、英語科主任、バドミントン部	英語	
15	教 諭		D組担任、男女平等教育主任、掲示教育担当、バドミントン部	社会	
16	教 諭		E組担任、社会科主任、環境教育主任、男女ソフトテニス部	社会	
17	教 諭		F組担任、ストーブ担当、女子バスケ部	数学	
18	教 諭			家庭	育児休業
19	教 諭			社会	育児休業
20	養護教諭		養護・保健主事		
21	事務主事		事務		
22	非常勤講師		美術科担当	美術	
23	校務員		用務		
24	さわやか相談員		さわやか相談室担当		
25	スクールカウンセラー				
26	図書整理員				
27	ICT支援員				
28	スクールスタッフ				
29	A L T				

5 グランドデザイン

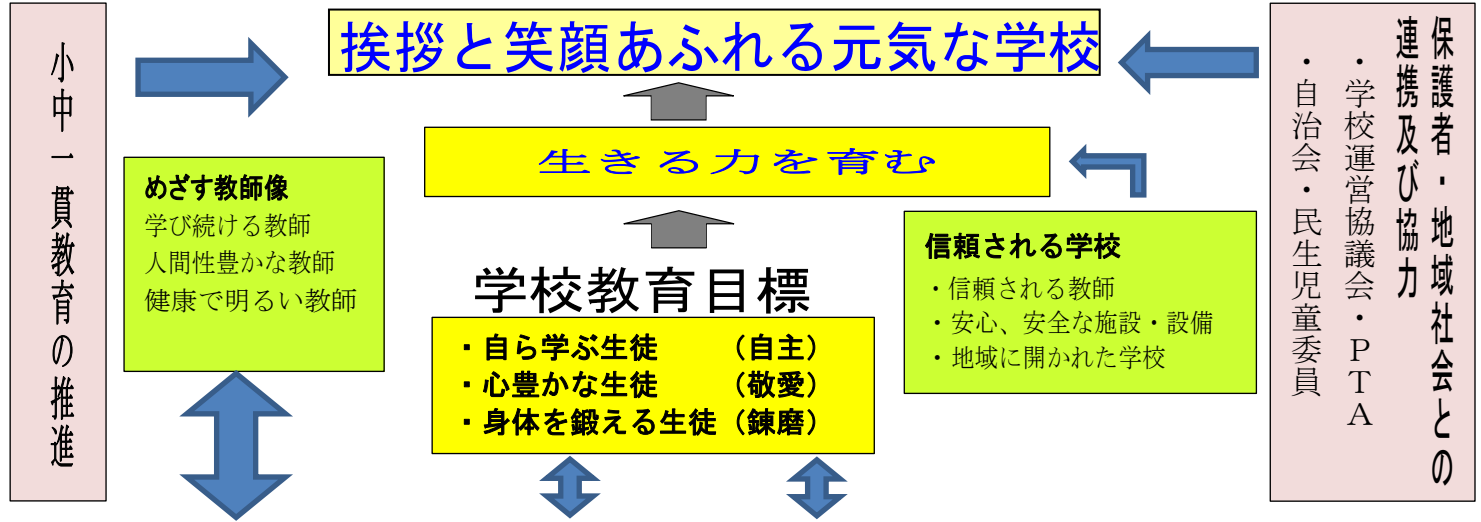
令和5年度 嵐山町立菅谷中学校グランドデザイン

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・学習指導要領

埼玉県教育振興基本計画
 第3期（2019～2023）
基本理念 豊かな学びで 未来を拓く 埼玉教育
 I 確かな学力の育成
 II 豊かな心の育成
 III 健やかな体の育成
 IV 自立する力の育成
 V 多様なニーズに対応した教育の推進
 VI 質の高い学校教育のための環境の充実
 VII 家庭・地域の教育力の向上
 VIII 生涯にわたる学びの推進
 IX 文化芸術の振興
 X スポーツの推進

嵐山町
教育振興基本計画
 （2020～2024）

- ① 確かな学力を育む教育の推進
- ② 豊かな心と社会性を育む教育の推進
- ③ 健やかな体を育てる教育の充実
- ④ 幼・保・小・中連携の充実
- ⑤ 特別支援教育の充実
- ⑥ グローバル化に対応できる教育の推進
- ⑦ 家庭と地域で育む教育の推進
- ⑧ 安全で快適な教育施設の整備



<めざす生徒像>
自ら考え判断し正しい行動のできる生徒
 ○進んで学習に取り組み、学力の向上を図ろうと努力する生徒
 ○自分のやるべきことを考え、主体的な行動ができる生徒
 ○規律ある生活の中で、相手を思いやることのできる生徒
 ○社会の一員としての人権感覚をもち、よりよい人間関係をつくり、互いに協力しあえる生徒
 ○進んで体を鍛え、自分の健康や体力を真剣に考える生徒
 ○学校行事等に積極的に取り組む生徒

<学校経営方針>
 ○全教職員の学校経営への積極的参画を推進する。
 ○生きる力を育むため、知・徳・体の調和のとれた教育を推進する。
 ○指導力向上を目指した教職員研修を充実させ、わかる喜びを味わわせる授業を実践する。
 ○各学習状況調査結果を分析して指導に生かすとともに、小学校と連携し、小中9年間を見通した教育を推進し、学力の向上を図る。
 ○通いたくなる学校づくりを目指すとともに、外部機関との連携を緊密に図る等、様々な角度から生徒に働きかけ、新たな不登校生と出さない指導の工夫・改善を図る。
 ○共生社会の実現に向けインクルーシブ教育を推進する。
 ○家庭や地域との連携を深め、開かれた学校づくりを推進し安心と信頼のある学校を構築する。（共育て 共育ち）

教育指導の重点（学校教育目標の具現化）

[自ら学ぶ生徒] (自主)

- 1 授業の中で
 - ・基礎的な内容をしっかり身に付けている
 - ・授業に意欲をもって参加し、わからないことは積極的に質問できる。
- 2 学校生活の中で
 - ・人の話をよく聴き、考え、実行する生活を心がけている。
 - ・自主的な活動や社会体験活動に積極的に参加する。
- 3 家庭や地域で
 - ・家庭学習を習慣化している。
 - ・地域の歴史や文化に興味を持ち、自ら学ぼうとしている。
 - ・自分の進路を家族と話し合い、将来への目標をもって生活している。

[心豊かな生徒] (敬愛)

- 1 授業の中で
 - ・授業の終始のあいさつ、挙手などのルールを守っている。
 - ・他人の意見を尊重し、よく聴き、相手の立場を理解している。
- 2 学校生活の中で
 - ・規律ある態度、基本的な生活習慣が身に付いている
 - ・お互いに明るく元気に、気持ちよいあいさつができる。
 - ・清掃など美化活動を積極的に行い、環境美化や集団の協調を大切にしている。
 - ・学校行事や学年行事の準備や当日の活動で、集団意識を高め、活性化を図り、仲良く協力している。
- 3 家庭や地域で
 - ・家族や地域の中で、その一員としての役割を果たし、積極的な行動ができる。
 - ・地域のボランティア活動などに参加する。

[身体をきたえる生徒] (錬磨)

- 1 授業の中で
 - ・自己の記録に挑戦し体力を向上しようとしている。
 - ・授業に根気よく取り組み、成就感を味わっている。
- 2 学校生活の中で
 - ・健康の喜びや運動の楽しさを知ろうとしている。
 - ・危険を察知し、避け、安全な生活ができる
- 3 家庭や地域で
 - ・交通ルールを守り安全な生活をしようとする。
 - ・基本的な生活習慣を身につけて健康な生活ができるよう、家族で話し合いを持っている。